

平成26年度 連携・協力事業の実施状況について

教員研修専門部会

【プロジェクト名】 10年経験者研修等現職教師向けの研修

1 プロジェクトの目的・概要

本事業は、平成17年1月に締結された佐賀県教育委員会との「連携・協力協定書」に基づく事業である。10年経験者研修は、教特法改正(平成14年6月)により制度化された、教職歴10年の教諭を対象に行われる研修で、対象となる教員は能力、適性等を踏まえ、指導力を向上させるために研修を受けなければならない。喫緊の教育課題への対応や最新の専門的知識・指導方法の獲得など教育における多様なニーズに応えるために、佐賀大学文化教育学部は現職教師に向けた「より高度で多様な現職研修」の実現を図ることを目的として大学において様々な講座を開設し、教員の資質と指導力の向上に取り組んでいる。

2 平成26年度の実施状況および成果と課題

- 今年度の事業実施にあたって、まず6月11日(水)に、教育センターにおいて大学の担当者との協議の場を設定し、今年度の事業の目的、開設する講座の内容、実施方法、実施形態等についての共通理解を図った。
- 今年度の開設講座および受講者数は表のとおりである。

表 平成26年度・佐賀大学文化教育学部教員による「10年経験者研修」の実施状況

講座番号	対象校種	講座名	開催日	受講者数
U1	全校種	これからの健康教育～小中連携カリキュラムを目指して～	7/25(金)	5名
U2	全校種	これからの学校体育～幼小中高連携カリキュラムをめざして～	7/29(火)	12名
U3	全校種	発達障害児に対する捉え方と接し方	8/22(金)	16名
U5	全校種	小中の系統性を踏まえた体育科教育～スポーツ文化享受能力を培う体育学習	10/11(土)	1名
U6	小、中、高	言語活動主体の英語教育の進め方	10/11(土)	12名
U7	全校種	ICT活用教育実践セミナー～「NHKクリエイティブライブラリー」を使った簡単動画教材	10/25(土)	23名

- 今年度は全6講座が計画され、8名の文化教育学部教員が7月に2講座、8月に1講座、10月に3講座が実施された。受講者は69名となり、昨年度(55名)と比較すると25%程度受講者数が増加している。これは、夏季休業中や土曜日など受講生が気兼ねなく受講できる日の講座開設を学部教員へ依頼したこと、少ない受講者数であっても講座開設を保障したこと、受講者の教育ニーズに応じた講座を開講することを意図したこと等が受講者数の増加につながったと考えられる。受講者数が増加した一方で、開設された講座数自体は昨年度の9講座から減少しており、学部教員への働きかけを行い、講座の開設を促進していくことが課題である。

3 今後の予定等

各講座終了後の受講者アンケートを例年通りに実施し、講座内容や今後の要望等について分析する。分析結果を大学教員へフィードバックすることで、受講者の意向を反映した講座内容の開設と充実を図っていく。平成 27 年度も受講生の参加しやすい時期に、受講者のニーズの高い講座の開設を実施できるよう大学教員に積極的に働きかけを行っていく。